



しなの町 議会だより

No. 157

平成 29 年 1 月 31 日号



9年生 若者の声を行政に

第412回定例会

10月会議・12月会議

10月会議・12月会議概要	2～4ページ
議員・議案ごと賛否一覧表	5ページ
一般質問（10名が町政を質す）	6～10ページ
信濃小中学校9年生の模擬議会	11～16ページ
政策提言	17ページ
ぎかい活動365日	18～19ページ
わたしの出番・一茶と俳句	20ページ

本議案の討論

〈議案第128号〉
信濃町給水条例の一部を改正する条例について

〔反対討論 永原 和男議員〕

水道の経営が苦しくなってきた原因は「繰出基準」に沿って一般会計が負担していないからです。水道会計に払うべきものを払えば、当面する赤字を解消できます。ふたつめの原因は、人口減少により水を使う人が少なくなったことです。給水人口を増やす営業努力が求められます。

〔反対討論 森山の実議員〕

この原因解決を棚に置いて料金引き上げを行なう行為は、企業努力をせずに町民に値上げを押し付けることになりません。町民の生活が厳しい中で水道料金は引き上げるべきではありません。

〔賛成討論 佐藤 武雄議員〕

水道料金値上げについて懸念解消に向け附帯事業や近隣市町村との広

域化なども考えましたが、災害、地震、渇水時に安定的な量を町民に確保、供給する事の重要性を考えた時現在の状況は非現実的です。人口減少による有収水量の減少や老朽管の更新など諸問題を将来に先送りする事こそ町民益を損なう事になりません。しかし行政、議員共々水道料金値上げを住民に明確な「理論根拠」とこのことに対する効果を「明示」し十分な理解を得る「努力」は必要です。

〔反対討論 湊 喜一議員〕

水道料金の値上げに對して反対しているわけではありません。老朽化した管路の改修は誰もが望むことです。給水人口の減少で収入の減は、誰もが認めるところです。それが料金の値上げに跳ね返ってくることは致し方ないことです。苦渋の決断は理解します。公共料金の値上げは生活を圧迫しかねません。激変緩和策を取られてしかるべきだったのでないでしょうか。何年かに分けて値上げをすべきです。

〔賛成討論 青柳 秀吉議員〕

この条例改正案を事務局に提出した時、町から「組合との関係で、提出は待つてほしい。町としても旅費規程は変える時期に来ていると思う。」と言われ、12月会議が近づいた頃まで待ち、進捗状況を聞くこと「断念した」との回答。宿泊料は県外だと一泊1万3000円の定額

て下さい。対案についても、それはできない、あれもできない、失敗を恐れて何もできない町政では、人口減少の今、将来が見えません。町も議会も、住民の方を向いて政治を行わなければなりません。

〔賛成討論 佐藤 武雄議員〕

町商工会活動は中期マスタープラン推進のなか、中小企業の経営力向上と地域産業の活性化に取り組んでいます。しかし慢性的な景気回復の遅れにより各施策の取り組みに支障や停滞が生じています。町商工業の更なる向上と地域産業の活性化として陳情書の各要望事項は将来的に見ても町商工業及び観光への商工会として横川町政での「まるごと観光地」構想への取り組みに必要不可欠です。よってこの事象に對し町の更なる力強い支援は最重要と考え賛成致します。

〔賛成討論 荒井 賢蔵議員〕

本来、こういう、職員の旅費に関する条例は、職員組合と、しっかりと検討、議論をして、そして職員組合の同意を得て提出すべきものであると私は考えるものであります。しかし、質疑の中で「していない」と、以前提案者のほうから答弁がありました。したがって私は、きちつと職員の了解を得ていない状況での発議は、すべきではないと考え、反対とするものであります。

〔賛成討論 森山の実議員〕

出張の際の宿泊料は、今は定額支給で、定額以下の施設に泊まれば余った分は返す必要なし、足りなければ自費でというものです。町の皆さんに知らせると、余っても返す必要がないことに対して、多くは「えつ、そんなことになっていない」という反応でした。納税者に対し、税金の使われ方を明らかにしなければなりません。また、旅費は職員の公務を保証するものです。自費でまかなわなければならないような事態を避けるためにも、実費精算にしようという改正案です。

〔賛成討論 青柳 秀吉議員〕

この条例改正案を事務局に提出した時、町から「組合との関係で、提出は待つてほしい。町としても旅費規程は変える時期に来ていると思う。」と言われ、12月会議が近づいた頃まで待ち、進捗状況を聞くこと「断念した」との回答。

〔賛成討論 佐藤 武雄議員〕

町商工業振興に関する陳情書

第412回定例会 12月会議 議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成●反対／病気・公務出張等により欠席・議決に不参加 {議長は議決に参加しない (-)}

Table with columns for 議案番号, 議案の内容(要約), 審議結果, and 議員名 (小林幸雄, 荒井賢蔵, 湊喜一, 北村照明, 橋崎一雄, 森山の実, 青柳秀吉, 酒井聡, 吉岡輝明, 永原和男, 佐藤武雄, 佐藤仙治, 宮川俊雄, 石川広之). Rows include items 117-148 and 請願8-17号.

大規模な伐採の対応は

町長「条例で何かできるかは、慎重に検討」



森山 木の実 議員

一般質問

質問 保養地の五叉路の上の約4分の林が丸ごとなくなっています。風当たりが強く吹雪の時などお宅もあり吹雪の時など心配です。町への届け出では、伐採と造林が目的ですね。

産業観光課長 基本的に個人の土地なので、木の伐採で収益を上げるのは認められています。5年後にはある程度の造林ができるということですが、出てくるものではないです。

質問 切り方が不自然な気がします。法的に問題なくても、我も我もと伐採を始めたら、という危険を抱えていますか。

産業観光課長 どこでも



質問 聞きます!!



酒井 聡 議員

太陽光発電施設、町としてできることは 総務課長「まず要綱を整備して対応します」

質問 当町において、太陽光発電施設の稼働や設置の計画など耳にするものが多くなりました。

町内、すでに売電をしている個人・企業はありますか。

総務課長 現在、町への届け出は不要です。直接の把握はできませんが、7月末で10kw未満のものが45件、50kw未満が5件、それ以上のものが1件となっています。

質問 次に、発電施設の設置予定についての情報は、把握していますか。

総務課長 公表されているものとして10kw未満のものが14件、50kw未満が39件、それ以上の規模では500kw未満が3件、1000kw以上2000kw未満のものが1件とされています。

質問 法律や規制の遅れのため、環境に優しい発電施設が、一部の自然環境を破壊していることに矛盾を感じますが。

総務課長 町としては、環境基本計画の中で太陽



設置に関するルール作りを早急に

光発電などの導入に努めると同時に、自然環境の保全も求めています。

質問 29年4月から関係法律が改正されて認定基準が見直され、法律や条例の違反が見られた場合、認定取り消しまでできるようになりますが、町としてできることは。

総務課長 国県の動向を見ながらになりますが、当町には、景観などの関係条例がありませんので、まず要綱を整備し、必要に応じてその段階の対応をしたいと思っております。

※ほかに倒木対策(特にナラ枯れ対策)について質問しました。

一般質問

町長就任2年経過は

町長「持続可能な町として努力しています」



佐藤 武雄 議員

質問 町長就任2年経過の取り組みと進捗状況は。

町長 地方創生も含め、人口減少問題、広域的観光、DMO、地域に活力を、に着目し公約実現に向け一層持続可能な町として努力し取り組んでいきたい。

質問 中長期的観点から観光協会、商工会へ増額補助をして観光業に力を入れてはどうですか。

町長 大事な位置づけです。観光的な予算配分は増額させてきています。

創生総合戦略について

質問 創生総合戦略の進捗状況はどうか。

総務課長 人口減少と地域経済の縮小の負の連鎖を断ち切る事を目的に、4事業を基本に途中経過の評価を検証いただいております。

質問 来年度以降の取り組みは。

総務課長 新規事業の提案をいただき戦略の見直し、来年度以降も継続し取り組みます。

トリアスロンについて

質問 トリアスロン大会への考え方は。

産業観光課長 総勢628名と昨年の2倍弱の数になりU19、U23の合宿なども菅川に遊泳区域を設け8団体など来町し大変効果がありました。

副町長 全日本U19、U23開催にあたっては、関係団体の皆さんと協議中です。条件整備や経費負



展望台設置研究を!

町政運営の基本は 町長「職員の皆さん方としっかりと意思疎通を図ることです」



佐藤 仙治 議員

一般ズバリ!

質問 就任以来2年を経過した現在、町長が目指す町政運営の基本について、お聞かせ下さい。

町長 私自身の立場の事務補助たる職員の皆さん方としっかりと意思疎通を図りながら、物事を進めていかなきゃいけない。これが行政運営の基本です。

質問 町民との対話を通じて生の声を聞かれた感想をお聞かせ下さい。

町長 いろんな思い、思い思いの皆さん方がいらっしゃる、各分野、年代層の違い、男女別などいろいろな思いを聞かせていただきました。また、今進めている町づくりについてもせっかくなので機会ですからご意見を伺うようしています。

町税等の収入未済額縮減について

質問 町税や国民健康保険税の収入未済額の縮減の目標値や期限について計画管理されていますか。

総務課長 大きな中の計画はありませんが、税



信濃町 まち・ひと・しごと 総合戦略等の計画書

定員管理計画について

質問 第7次行政改革大綱の定員管理計画の進捗状況について伺います。

総務課長 平成31年の114名の目標に対して今年4月1日現在115名です。

補助金交付関係について

質問 監査委員から補助金交付要綱の見直し等の指摘に対する見解は。

町長 指摘をいただいた部分は課長会議の中で対応するよう指示しました。

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成します。)

一般質問

避難所運営の マニュアル策定は 町長「策定し総合訓練で 運用しました」



湊 喜一 議員

質問 今年各地で大災害が発生しました。その反省を受け、災害発生時の避難所の運営は、住民が中心になる避難所運営マニュアルの作成、避難所運営の訓練をすべくで

町長 今年からマニュアル等、住民福祉課内で作成、運用に移し総合防災訓練で住民に体験していただいています。



避難所運営ゲーム「HUG」の体験中

住民福祉課長 避難所は最初職員が中心になり、状況を見て住民に中心を移すべきだと思います。

今年より避難所運営ゲーム「HUG」を導入し、機会をとらえて訓練していただいています。

災害時のBCP

質問 BCP「事業継続計画」の策定を強く促します。

町長 上下水道は一応できています。一般事務は29年度に検討します。

「被災者支援システム」の導入・運用

質問 災害において、住民が一番必要とする「権

災証明」の発行を迅速にできるシステムです。他自治体でも安価に導入しています。西宮市の職員が災害の最中、開発したシステムでSEは必要ありません。

総務課長 導入の検討はしたのですが、初期設定に150万円、毎年の更新に65万円の見積で断念しました。

質問 安価と聞いています。先進地、県内導入の自治体等に問い合わせ再度の検討をすべきです。

総務課長 有益と認識していますので、再度検討いたします。

高校卒業まで 医療費無料化を

町長 「来年度に向けて 真剣に検討してまいります」



荒井 賢藏 議員

質問 今この自治体も中学卒業まで医療費無料化をしています。

若者支援、人口増を目指す町として高校卒業まで医療費無料化をしてアピールしてはどうですか。

町長 財政状況も勘案しながら来年度に向けて真剣に検討してまいります。

質問 もしやるとすれば事業費はどのくらいあればできますか。

住民福祉課長 昨年の中学生が大体160万円ぐらいいるので160万円ぐらいいればできると思います。

質問 課長は160万円ぐらいいらうと言っておりませんが、そのくらいならできるとはいいですか。

質問 入学準備金として、必要な時に支払うことを検討願いたい。教育長 早めに支払いできるような研究したい。

バス待合所について

質問 病院のバス待合所についてはどうなりましたか。

副町長 病院の玄関での乗り降り、薬局での乗り降りを考えています。

また、既存の待合所をしっかり囲い、風雪に耐えられるようにと工事計画を進めているので、ご理解をお願いします。



完成した待合所

一般質問

分水で給水人口を増やし 値上げを抑える考えは

町長「分水は考えて いません」



永原 和男 議員

質問 水道事業の経営が苦しくなってきた原因は、

町長 給水人口の減少だろうと思います。

質問 一般会計からの繰入金がありません。このことが二つの原因です。

町長の見解は、町長 一般会計が負担すべき経費については、負担しています。

質問 プール一杯分、水道水に余裕ありませんか。

水道建設課長 余裕の部分では、可能と思います。

質問 余った水を分水し、給水人口を増やし、

水道料金を抑える考えはありませんか。

世帯主9割給付を 後期高齢者医療に 導入を

町長 今のところ分水は考えていません。

後期高齢者の方で医療費を3割負担する人は何人いますか。

住民福祉課長 55名の方が3割負担です。

質問 55名の内、世帯主の方は何人いますか。

住民福祉課長 35名の方が世帯主です。

質問 世帯主9割給付制度を来年度から創設することを提案します。町長いかがでしょうか。

町長 後期高齢者の皆さん方に、世帯主9割給付することは考えられません。

質問 この制度を切望している方が多くいます。検討することはできませんか。

町長 試算することは、やぶさかではありません。



真夜中、懸命な断水復旧工事

インバウンド客の 目標は 町長「12000泊が 目標値です」



吉岡 輝明 議員

質問 国は2020年にはインバウンド客を4000万人としていますが、信濃町はどうですか。

町長 平成26年度は5090泊で1万2000泊が目標です。

質問 80%近くが東南アジアの人ですが、町として言語対応は、

産業観光課長 町内施設では中国語・ハングル語のわかる職員はいません。

質問 町の様々な施設に数万円で入手可能な携帯型自動翻訳機を設置できませんか。

産業観光課長 黒姫駅では翻訳用のタブレットで対応しています。

二次交通対策について

質問 土日連休のデマンドタクシーをインバウンド客の足として活用は、

副町長 コスモス号は町民の交通手段であり、観光目的ではありません。

質問 運休している土日に動かせないのですか。

副町長 経費の面と町内事業者との住み分けができています。

北塩原村の 観光について

質問 信濃町同様農業と



土日活用されない町の財産コスモス号

観光が主産業の福島県北塩原村の視察を行いました。人口2900人、一般会計予算35・3億円の村に、年間270万人(信濃町は87万人)の観光客が訪れ、消費金額は280億円(信濃町43億円)。一般会計に占める商工観光費が13・4%(信濃町2・8%)、観光協会への補助金が3400万円(信濃町563万円)だが、率直なご意見は、町長 参考にするべきと思うのでイコールの対比はできません。

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成します。)

子育て支援の充実を

町長「人口減対策としても 取り組んでいきます」



橋崎 一雄 議員

給食費の無料化を
質問 他町村で無料化に向けた動きがあるが、検討する余地はありますか。
町長 現時点で3700万円ほど給食費をいただ

いており、財源的に、現段階では困難と考えます。

医療費の無料化を

質問 現在、中学卒業までの医療費無料化を、高校卒業までに拡充する考えは。

町長 新年度に向けてしっかりと検討させていただきますと思います。

医療費窓口無料化を

質問 今まであった国のペナルティーが見直される方向だが、県との協議の中で窓口無料化の方向へ進むと考えているのか。

町長 ペナルティーが課せられないとなれば、当然その方向で対応して参りたいと思います。

病院でのカード決済を

質問 病院での支払いにカード決済も取り入れてほしいと要望があるが。



子育て支援の拡充を

病院事務長 金融機関との協議など問題点もありますが、クリアできれば可能であり、住民サービスの向上に繋がると考えております。

入園での不公平は

質問 法改正で入園時の認定基準が変わりましたが。

町長 町では特別利用保育として1号認定児童も受け入れていただいているが、保育料の面での不公平は発生しないか。

町長 法律のできた背景もしっかりと確認をさせていただき、検討させていただきます。

※他に、通学路の安全対策・病院建設について質問しました。

三館は、観光施設ですか

産業観光課長「観光施設の側面を持っています」



石川 広之 議員

質問 町の観光財産はどのように考えますか。

町長 町にある全てが本物であることです。ナウマンゾウ博物館、児童館、一茶記念館を、観光にどう結びつけていくか課題になります。

質問 三施設の立場はどうですか。
産業観光課長 博物館法に基づいて運営しています。

観光地であり、ナウマンゾウ博物館は発掘地、野尻湖に、一茶記念館は生誕の地柏原に、児童館は、児童作家が別荘を持った黒姫とそれぞれゆかりがあり、観光施設の側面も持っています。

教育長 教育、観光の両面を備えています。大勢の方々にも利用をさせていただきたく願っています。

「一茶」の映画について

質問 町に要請は、町で取り組んだものはなんでしょうか。

産業観光課長 「一茶」の製作に関する要望がありました。製作に対する助成、小道具、宿泊先、ロケーション箇所などの手配など、今年、撮影の手伝いをしました。

質問 「一茶」俳句に関わることに町は対応が取れているので



3館の一つ一茶記念館

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成します。)

すか。
教育長 小中学校では、1年毎ごとに俳句誌としてまとめて3年目になります。一茶忌俳句大会に高校、大学の部門を開き、高校生の活躍があらました。一茶生誕の地を広め、全国俳句年次総会を当町でまた、俳句をユネスコの世界遺産登録に向けて国内外に広め、一茶の顕彰に努められ、俳句を愛好する輪を広げていきたいです。

今年も開催 信濃小中学校9年生の模擬議会



模擬議会の概要

11月7日、議会議事堂において、「信濃小中学校9年生の模擬議会」が開催されました。

今回も下欄にある通り事前に通告書を作成し、9年生の14名の生徒が一般質問を行いました。

5班にわかれたグループは、それぞれが掲げたテーマに沿って、ふるさと学習として日頃調査・研究してきた成果を堂々と発表していました。

なお会議の様子は、オフトークにて生放送されました。



今回の模擬議会でも、生徒が制作した「ふるさとCM大賞」応募作品の上映や、グラフを多用したプレゼンテーションなど

主催者挨拶

議長 小林 幸雄

本日、3年続けて「9年生の模擬議会」を開催するにあたり、9年生の皆さんを心より歓迎します。

この模擬議会は「ふるさと学習」の中で皆さんの様々な思いと調査結果をまとめた発表の場です。質問内容にある、町の活性化や宣伝方法、耕作放棄地や空き家問題、福祉問題、そして人口減少問題は、すべて町が直面している問題です。これらについて、自由な発想のもと、よく調査研究されていると思いましたが、雰囲気が違うので緊張されていると思いますが、学習の集大成を自信を持って町長に質問してください。

結びに、この信濃町、日本、また地球の未来は皆さんに託されています。私たちは皆さんに大きな希望を持っており、本日の経験を糧として、大きくはばたかれることを心から期待します。

信濃小中学校9年生の模擬議会 一般質問通告内容

テーマ：信濃町を住みよい町にして移住者を増やすことについて	
1班	1 信濃町の景観をよくして、信濃町を訪れる人に好感を持ってもらえるようにしよう 2 信濃町の耕作放棄地や空き家を有効活用して農業従事者を増やそう 3 信濃町の一人暮らしのお年寄りや、移住してきた若者がシェアハウスをして交流を深めよう
テーマ：信濃町の特産品を使った商品を生かして信濃町をより多くの人に知ってもらうにはどうしたらよいかについて	
2班	信濃町には魅力ある特産物がたくさんある。それを広めることで知名度を上げ、この町を今よりも多くの人々が訪れたり、住んだりする町にしていきたい
テーマ：信濃町の特産品をもっとPRするための方法について	
3班	1 信濃町の特産品の一つであるとうもろこしをもっと町外や県外にPRするための提案 2 信濃町の特産品をもっとPRするための提案 3 信濃町の食べ物をもっとたくさんの人たちに広めるための提案
テーマ：信濃町の活性化のための方策について	
4班	1 信濃町をもっとたくさんの人に知ってもらうために、信濃町のいいところを使った企画を考えよう 2 信濃町の人口減少についての対策を考えたい 3 信濃町の観光客増加のためのPRをしよう
テーマ：「信濃町のよさ」をより多くの人に知ってもらうようなPRの方法について	
5班	信濃町のよさを町外の方々だけでなく、町内の方々にも知ってもらうような「PR」の方法を提案する

1班

信濃町を住みよい町にして 移住者を増やすこと

私たち9年生は、総合学習として「行ってみたくなる町・住んでみたくなる町・信濃町 信濃町の可能性と課題」というテーマで学習してきました。

私たち1班は、信濃町を住みよい町にして移住者を増やそうという観点から質問します。

信濃町の景観についての考え

Q 一つ目は、信濃町の景観を良くして、訪れる人に好感を持ってもらえるようにすることにしています。

まず目に付くのが、道路脇の雑草の多さです。実際に歩いてみると、草がはみ出ていて歩きにくく、見通しが悪く危ない箇所もたくさんあります。これは、安全上の問題と、景観としても町のイメージを損ねていると思います。また、廃墟となった建物もあり、これも町が寂れて活気を失った印象を受けます。



こうした雑草を勝手に除草してはいけないのですか。景観維持のための町の対策を伺います。

また、景観を損ねている原因として、ゴミ問題もあげられますが環境美化のボランティア活動を行なうことも提案します。

町長 草刈りについての現状は、集落の中は集落や所有者の皆さんにお願いしています。集落間については、ボランティアによる「信濃町をきれいにし隊」を立ち上げて18名の皆さんで草刈りを行なったところです。環境美化対策も各種団体の協力で行なっています。

滞在型市民農園を取り入れて人口増

Q 次に、耕作放棄地や空き地を有効活用して、農業従事者を増やすことについて提案します。

以前、役場の方からアクトイブシニア（定年退職直後の中高年）世代を呼び込んで農業従事者を増やす計画があると聞きました。計画の内容と進行具合をお聞きします。



人口を将来的に確実に増やすためには、若い世代の移住が不可欠です。そこで、「滞在型市民農園」を取り入れて、都会の若者の呼び込みを行なうことを提案します。

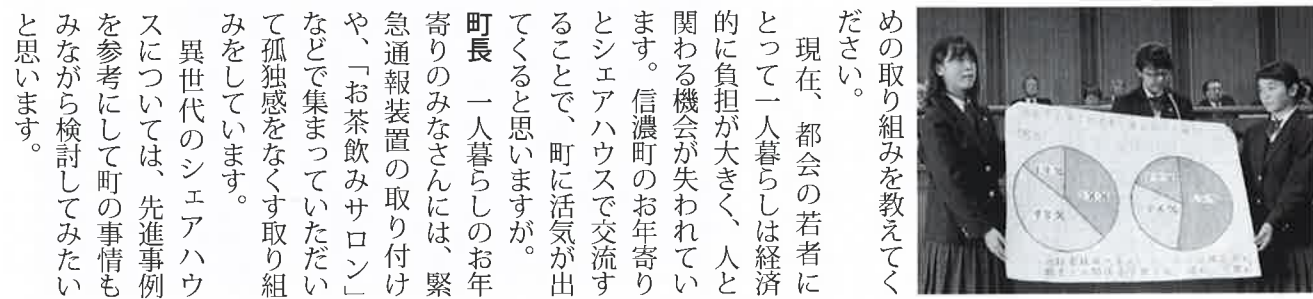
これにより、空き家対策と地球規模の食糧危機の二つが解決できると思います。考えをお聞きします。

町長 農地の維持に関しては、国の農業政策を紹介し事業を行なっていますが、中高年を対象とした農業従事者の移住政策は進めていません。

滞在型市民農園につきましては、妙高市でも行なわれていますが、町での計画はありません。空き家の活用も含め、町の若者移住・定住政策に反映させたいと思います。

シェアハウスで都会の若者と交流

Q 三つ目として、一人暮らしのお年寄りの家をシェアハウス化して、都会の若者とお年寄りの交流を広げることを提案します。



現在、都会の若者にとって一人暮らしは経済的に負担が大きく、人と関わる機会が失われています。信濃町のお年寄りやシェアハウスで交流することで、町に活気が出てくると思います。

町長 一人暮らしのお年寄りのみなさんには、緊急通報装置の取り付けや、「お茶飲みサロン」などで集まっていたりして孤独感をなくす取り組みをしています。異世代のシェアハウスについては、先進事例を参考に町事情もみながら検討してみたいと思います。

2班

特産品を使った商品を 生かして町をより多くの人に 知ってもらうにはどうしたらよいか

私たち2班は、信濃町の特産物（町内企業の商品も含む）を使った商品を生かして町を知ってもらうためにスイーツを作りました。

新商品を生み出して販売したいと 思います

Q 私たちのグループでは、町内企業が製造しているお茶（健康茶）に視点を置き、このお茶を紅茶のように粉末にして、ケーキやマカロンの生地に練り込んでみました。試食会でも高評価でした。



町内には、トウモロコシやソバなどは加工されて販売されていますが、

こうした商品は販売されていません。

信濃町を「食」から知ってもらうことは、とても良いことだと思います。このお茶に限らず、新しい商品を生み出して販売したいと思えますが実現できるでしょうか。

町長 担当からも関連の企業さんに話を伝えたいと思っています。期待したいと思います。ただ、販売という点には手続きも難しいところがあります。ひよことしたら全国に売れるスイーツになるかもしれませんので、提案していただきたいと思えます。

インターネットによって農産物の販売を

Q 信濃町にはたたくさんの農作物と加工品があります。しかし、残念なことに幅広く知られていません。そこで、これらをインターネットの活用によって販

売することについて提案します。まず、農業者がネット販売をすべき理由は次の四つです。一つ目は、ネット販売は儲かるということです。二つ目は、24時間宣伝することが可能であることです。三つ目は、中間業者を通さないので良い状態の商品を、高く販売できることです。そして四つ目は全国のお客様とやりとりができることです。



町内には、既にネット直売を始めて成功している農業者さんもありますが、こうした農家が広がることで、町の活性化につながると思います。進めてはどうでしょうか。

特産品のパンフレットを作りました

町長 東京をはじめいろいろなところへ観光PRも含めて、信濃町の良さや特産品も紹介しているところでは、瞬間冷凍したトウモロコシをインターネットで東南アジアに販売している企業も町内にあります。海外に向けても対応する時代になったのかなと思います。

私たちがグループでは、特産物を使ったスイーツとして、トウモロコシを使った「もちこしシュークリーム」を作ってみました。

こうしたものを生かして信濃町のことを広め



いづれにせよ、できる限りの宣伝をしていきたいと思えます。

3班

信濃町の特産品をもっとPRする方法

私たち3班は、信濃町の特産物であるトウモロコシなどを、町外や県外の皆さんにもっと幅広く知ってもらうための提案をします。

もっとトウモロコシのPRを

Q 私たちは、実際にモロコシ農園に行きPR活動などのお話を伺ってきました。

そこで分かったこととして、その農園ではPR活動はほとんど行なっておらず、口コミで情報が広がっていくということ、後継者不足が深刻になってきていることでした。



PRについては、もっとインターネットを活用してはどうかと思いましたが、町のホームページには、農場などのリンクはありますが、トウモロコシを大きくPRしたものはありませんでした。

そこで、町のホームページを通して、もっと特産物の魅力を発信し、農業に関心を持ってもらえれば後継者不足を解決する力になると思います。

町長 特産物を多くの皆さんに知ってもらうために、PRやイベントなどに積極的に参加して周知に努めています。道の駅の直販所の売り上げも年々向上しています。

トウモロコシの流通の現状については、人気が高いために生産量が追いついていかない現状があるのかなと思います。

町の特産物を使ったカフェを

Q 信濃町の特産物を使ったカフェを

作ることを提案します。その中で私たちは、ブルーベリーと蜂蜜に注目しました。

私たちも業者にお話を伺いに行きました。そこで感じたことは、蜂蜜もブルーベリーも、長野県が生産量第1位なのにあまり知られていません。

特産物を使ったドリンクやスイーツを置いたカフェを作ることで信濃町をより多くの人に知ってもらえると思います。



ネットで広める方法もありますが、実際に足を運んでもらって、更にほかのお店に足を運んでもらえれば、町の活性化につながると思うので提案します。

町長 それぞれの皆さんの思いが一つになって素敵なお店ができていく、こういうことが信濃町の活力の底力になっていくものと思います。

パンフレットとSNSで情報発信を

Q 次に、信濃町の食べ物を広めるために、次の二点を提案します。

一つ目は町の食べ物を特集したパンフレットを作ることです。町を紹介するパンフレットはありますが、食べ物だけを特集したものはあまり見かけません。

二つ目は、それを広めるためにSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）のアカウントを作って情報発信することです。情報の一番効率の良い広め方はSNSでの拡散だと聞きました。



先ごろ、町のホームページも新しくなりまして、SNSを活用しながら情報発信を進めていきたいと思っています。

町では、関係団体がレシピ集を発行したこともありました。いずれ、書店に置ける出版物ができればおもしろいと思います。

こういう時代です。行政だけでなく、町民の皆さんからもSNSによる情報発信をお願いしたいと思っています。

4班

信濃町の活性化のための方策

私たち4班は、信濃町のことをもっとたくさんの人に知ってもらえるかということ、信濃町のいいところを使った企画について考えてみました。

小中学生に企画参加のチャンス

Q 信濃町にはいいところがたくさんあります。その中でも、トウモロコシがおいしいということで企画を考えました。

9月11日に行なわれた北しなの線1周年記念イベントで「トウモロコシ早食い競争」を企画して実際に行なうことができました。



ほかにも、春は「草花と山菜のツアー」、夏は「夏野菜フェスティバル」、秋は栗やキノコを使ったご飯の振る舞い、冬は「親子雪合戦」など、四季を感じられる企画を考えました。

これからの社会を担う小中学生が、企画の運営に参加させていただけよう、企画をもらえること、活性化につながることを思います。

そこで、こうした信濃町の四季を知ってもらえるイベントを行なうこと、小中学生に対して企画に加わるチャンスを与えてはどうでしょうか。**町長** イベントの企画と実行をしていただいたことに感謝いたします。四季を通じたイベントについては、町が行なっているイベントとの整合性を見ながらできればおもしろいと思います。また9年生の皆さんのみならず、いろいろな皆さんから企画をお寄せいただければと思います。

もっと施設の充実を

Q 町の課題の一つは人口減少を防ぐための二つの対策を考えました。

一つ目は、活性化のために施設を増やすことです。物価の高さと公共施設の少なさは、生活のうえで不便です。また、主要な商業施設は一つの地区に集中していますので、各地区に一つずつでも店や公園があれば不便さは解消されると思います。



二つ目は、自然を生かした施設を作ることです。観光地の施設は観光客向けのものが多く、町民には盛んに利用されていない現状があり

ます。誰でも利用できる遊泳施設や最新のスポーツ施設を取り入れて欲しいと思います。

町長 将来予測をした時に、財源的にも優先順位をつけて政策を進めています。また、生活の利便さは重要な問題です。で、個別に支援が必要になつてくる時代もそう遠くないと思っています。

野尻湖など自然を生かした施設については保全と活用面から検討しているところです。

観光客増加に対する企画や考えは

Q どうしたら観光客が増えるかを考えました。今の信濃町は、美しい自然があるにも関わらず、観光客が減少している状況です。そこで、観光客の増加を狙った三つの案を考えました。

一つ目は、野尻湖や黒姫高原周辺に絵を飾って町の魅力を知ってもらおうということです。

二つ目は、子どもにも分かるような内容のPR動画を公開して町の良さを見てもらうことです。

そして三つ目は、ブティックバスを料理して観光資源にすることです。町では、観光客増加についてどのような企画や考えを持っていますか。**町長** 国内人口が減少する中で、インバウンドに対応することが大事になってきます。



地域の文化そのものが観光の素材になるものだと思いますので、町民一人ひとりが「おもてなしの心」を持っていただいで、信濃町の観光を考えていく必要があると思います。

5班

「信濃町のよさ」をより多くの人に知ってもらえるようなPRの方法

私たち5班は、「ふるさとCM大賞」に向けてCMを制作してきました。まずは、私たちが制作したCMをご覧ください。

(プロジェクターにてCMを発表)

町内の人に向けたガイドブックの作製を

Q CM制作を通して、どうしたら信濃町の魅力を町内の皆さんに伝えられるか考えました。町外にPRするに当たって、自分たちが信濃町のよさを知る必要があると思っただけです。

しかし、町の良いところがあまり町内の皆さんに知られていないと感じたので、町内向けのクーポン付ガイドブックを作製することを提案します。

たくさんさんの施設を一つにまとめたものにして、またスマートフォンなどではなく本にするこ



年寄りも使うこともできます。

野尻湖や冬のアクティビティも体験してもらって、町内の皆さんが、町について詳しく知ることになり、その中で交流が生まれ「信濃町って良い所だな」と思ってもらえると思います。

町長 信濃小中学校の皆さんには「ふるさとCM大賞」に毎回応募していただいて、信濃町のアピールをしていただいております。ガイドブックについては、担当課もそのような方向性も考えているようですので、検討したいと思っております。

アンテナショップの設置を提案します

Q 私たちは、町外の皆さんを町に呼び込むために、アンテナショップを設置することを提案します。

信濃町には、たくさんの特産物があります。例えば、トウモロコシ、ルバーブ、ソバ、ブルーベリーなどです。これらは、町外ではあまり知られていないと思います。



まずはそれらの存在を知ってもらうために、都心やサービスエリアなど、人の集まる場所にアンテナショップを作り、魅力を発信していけばと思います。ある町は、東京にショップを作った人気

なっています。

ただ、アンテナショップを置くだけでは町の良さが全て伝わらないと思いますので、私たちが作ったプロモーションビデオを流して、また、季節ごとに内容を更新して、町内の場所や環境の良さを発信していければと思います。

それとともに、パンフレットを配置していただければ、情報を残してもらえます。

町長 以前から、アンテナショップというものは、町を知ってもらうには大事なものだと思っ

ては、将来的に検討していく必要があるのかなと思います。

学校長あいさつ

宮澤 好一先生

学校で見る皆さんの姿も大変立派ですが、議場の皆さんはとても大人びて頼もしく感じます。



この模擬議会のねらいは「ふるさと学習で追求した課題をグループごとにまとめ、ふるさとをより良い町にするために課題について質問し、提案する」とことと「模擬議会を体験することを通して議会の仕組みや運営について知る」です。

この模擬議会は、授業では学べない生きた学習の機会です。多くのことを吸収し、これからの生き方を見つけていく機会になることを期待します。

(抜粋)

新年度予算編成に向けて 町に政策を提言

信濃町議会では、議会の中で検討してきた政策について、下記のとおり町に提言しました。

提言

12月6日

層の向上と、けがの軽減を求める意味で、次の事項を提言します。

(1) 教育委員会・保護者の意見を充分検討する中で、園庭を順次天然芝化し、庭で遊ぶ園児に対する安全の確保を図るとともに、情操教育の充実、および身体の発育の向上に努められたい。

4. 一茶記念館の今後の運営について (要約)

信濃町は小林一茶の生誕・終焉の地であることから、「一茶記念館」を運営することにより、当町出身の偉人を顕彰するとともに俳句文化の普及を図っています。

一方で、同じ北信の高山村が、登録博物館「歴史公園 一茶ゆかりの里 (一茶館)」を運営しています。

そこで、これら一茶関連の文化施設が共存共栄するための施策として次のとおり提案します。

(1) 一茶記念館の運営については、「生誕の地・終焉の地」としての知見に立った戦略の見直しを求めるとともに、一茶関連史跡との関連の強化に努められたい。

(2) 高山村の「一茶ゆかりの里」と積極的に事業提携を行ない、企画展やイベントの協同開催など、両施設が共存共栄するために相互協力体制の構築を求める。



1. 黒姫駐車場の除雪業務委託について

27年度決算において、除雪委託費の課題が指摘されました。この管理委託費については、長年にわたり慣例になっているように思われます。

29年度の予算編成にあたり、管理費及び除雪費の算出方法、降雪時の稼働量による算定に明確な基準を設けるなど、新たな対応策を講じられたい。

また、観光協会への是非についても、原点に振り返り再度検討願いたい。

2. 信濃町の公共交通の拡充について (要約)

信濃町のデマンドタクシーは、高齢者が病院や買い物に行く時の大切な交通手段となっていますが、それ以外の広がりが見えません。理由として、「不便」「使いづらい」ということが挙げられます。使う人が少ないということは、ますます赤字が増えるということでもあります。

膠着状態に陥っていると思われる信濃町の公共交通の現状を打破するために、現在運行中の4台のふれあいコスモス号の運行のほかに、待機中の2台でまちなかをフレキシブルに走るように整備すれば、利便性が増すと思われ

(1) 公共交通システムの拡充を図ること。
(2) まちなかでの移動を可能にするために、待機中の2台のデマンドタクシーがフレキシブルに運行できるように交通体系を整備すること。また、そのために必要な人員を配置すること。

(3) 現在の公共交通に加えて自家用有償旅客運送制度の導入を検討すること。

3. 保育園の園庭を芝生化することについて (要約)

信濃町の保育園の園庭は、すべてが砂地であり、転倒した際のけがや、それによる後遺症のリスクなどが懸念されます。

一方で、天然芝のグラウンドが園児の発育にもたらす効果は認められており、児童の情操教育の一

長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会総会

11月22日信濃町にて開催

この特豪協議会は、10市町村により構成されており、豪雪地帯における社会基盤の整備、地域経済の伸展、暮らしの安全安心の確保などのため、長野県に対して共同で要求を行う組織です。

〈信濃町議会からの要望事項〉

1 除雪支援員制度の派遣適用範囲の拡充について
現在、除雪支援員制度により対象者の居住する家屋については、派遣の対象となっておりませんが、同一敷地内の物置などが居住していない建物は対象外です。対象世帯の状況を考慮し、落雪事故防止と積雪による倒壊などの危険を回避するために、支援員による除排雪が対象外の建物にも可能になるよう制度の拡充を図ること。

2 特別豪雪地帯での「特定空き家」に対する支援策について
「特定空き家」に指定され、豪雪によって倒壊事故の恐れのある建物に関しては、特措法により市町村が撤去を命令し、場合によっては行政代執行ができるようになりますが、いずれも費用は所有者の負担です。しかし特別豪雪地帯では、家屋からの落雪事故の発生や積雪による倒壊の危険性がより高く、また所有者の状態も考慮する時、固定資産税の住宅地特例からの除外や撤去費用の負担については勘案する必要があると考えます。

ついては、特別豪雪地帯での「特定空き家」についての支援策を図ること。



議長より歓迎のあいさつ



説明する副議長

タングラム スキー場

安全祈願祭



タングラムスキーサーカスにて

12月17日、タングラムスキー場の安全祈願祭がとり行なわれ、町議員も参加して安全を祈りました。
翌日には、黒姫スキーパークの安全祈願祭が行なわれました。

県関係要望箇所現地調査

11月24日、町内での県関係工事要望箇所の現地調査を、服部県議、長野建設事務所、町の担当者、また、町議員との合同で行ないました。
県道の拡幅・改修や、歩道の設置などが、町民から要望されています。

- ・古間地区 地域交流施設急傾斜対策
- ・野尻地区 県道の拡幅、改修
- ・山桑地区 県道の拡幅、改修
- ・富ヶ原地区 県道の拡幅、改修
- ・大久保地区 県道へ格上げ、改修
- ・仁之倉地区 県道の拡幅、改修



仁之倉の拡幅予定箇所

議員会研修会 平成28年10月12日

講師 長野赤十字病院 救急部 参事 池田 秀昭 氏

長野赤十字病院及び災害拠点病院が行なう災害活動について
人間を救うのは、人間だ。そこに、守りたい命がある。

「災害時は、通常の診療体制では対応できない状況です。このような災害急性期に活動できる機動性を持った医療チームをDMATと言い、これからの災害に必要とされる体制である」とのこと、議会としても大変参考になりました。



そこに守りたい命がある

365日

(10月から12月までの主なもの)

ぎかい活動

所管事務調査

総務産業常任委員会

福島県磐梯町・北塩原村 11月16日～17日
△磐梯町の概要▽
面積59㎏、人口3596人、高齢化率33・6%。町の70%が山林で、過疎地域・特別豪雪地帯に指定されています。今回は、当町と同様の公共交通機関としての、「生活福祉バス」と「地域タクシー」の運行状況を調査しました。



福島県北塩原村役場

△北塩原村概要▽
面積233㎏、人口2954人、標高が200mの地区から400m、本化し「町民生活福祉バス」としました。町内3コースを3台のマイクロバスで運行してきましたが、高齢化など環境の変化にともない、乗客数の減少が年々進んできました。このため、日常生活に必要な移動手段として「地域タクシー」の運行を始めたという事です。当町のデマンドタクシーと同様な仕組みですが、土曜運行や、午前8時から午後9時までの運行と、乗降場所の多さという利便性があります。時刻表もありますが、空車であればいつでも予約ができる対応をしています。当町でも参考にすべき点が多くありました。この視察研修をもとに、当委員会では、町の公共交通について政策提言を町に提出しました。

平成13年には、町民がわかりやすく、利用しやすい公共交通にするため、全ての公共交通を一

800mの地区が点在する独特な地形です(裏磐梯地区です)。
北塩原村では、当町と同じく国立公園内に湖を持つ自治体での観光の現状と課題について研修しました。

村の産業構造は、農業が14・2%、商工業が20・8%、観光が65%と、観光が盛んな村です。観光入込客数は年間276万人(信濃町87万人)、旅行・観光消費額は推計で約280億円(信濃町43億円)と、当委員会の予想を超えた数字です。

村観光協会は、会員115人と、当町と同じくらいで、予算額は約4100万円、内、村からの補助金3410万円で、誘客広報宣伝事業や、パンフレット作成などのトータル事業ほか、探勝路維持管理事業(作業員3名、19コース計80kmの管理)などを行なっています。
村の観光政策の課題に



高山村の一茶館

ついでには、観光資源の保護と活用のバランス、観光客受け入れ環境の整備・現状把握、分析、データ活用、観光振興計画の策定などがあるという事です。
当町における観光資源の適切な維持管理についても大変参考になりました。

社会文教常任委員会

10月6日、当委員会は所管事務調査として、高山村の「一茶ゆかりの里(一茶館)」の視察と、高山村議会の所管委員会の皆さんとの懇談会を行いました。

懇談会では、両町村が所有する一茶関連施設の相互協力に向け、活発な意見交換を行いました。当委員会では、この調査報告を受けて両町村が一茶関連事業の相互協力を進めようとする政策提言を提出しました。

編集後記

あつと言う間の4年でした。16代議会最後の編集・発行となります。
わかりやすい議会だよりと思いい、編集委員長以下6人で頑張ってきましたが、いかがでしたでしょうか? (宮)

こんにちは

でばん わたしの出番です



自然に癒されて
黒姫保養地 衣川美智子さん

大阪からペンションを開業するために信濃町に移り住んで26年が過ぎました。季節の移りを肌で感じ「この町に住んで良かった。」と思う日々、自然豊かな信濃町での暮らしをとても幸せに感じています。新しい土地での生活は不安

もあり、初めての冬の大雪は除雪もままならず近所の方に助けていただきました。自然の厳しさを痛感してのスタートでした。たくさんの方に助けられ支えられて仕事を続けることが出来ています。それと共に元気をもらっているのが深く豊かな自然です。春の山菜、秋のきのこ

自然の恵みにも感謝。都会から癒しを求め自然を楽しみに訪れるお客様も多いです。でもこの素晴らしい景色の中で不法投棄やゴミの放置が後を絶たず胸が痛むことも度々です。おいしい水、空気、豊かな土壌は町の宝です。住む人や訪れる人を温かい気持ちにしてくれ、たくさん元気をくれる豊かな自然がいつまでも守られることを願っています。



「若人に望む」
古間上町 佐藤 義人さん

平成29年は、町議会議員の4年に一度の選挙の年です。

信濃町発足当時は、地区集落等が推薦して、議会に候補者を選出し、要望・苦情など強い意見等が多く見受けられました。

現在でも地区には、集落推薦により選出して仕事を付託するところ

があります。しかし、信念を強く持ち、自ら立候補したいと手を挙げる人は見当たらないのが実情です。社会現象であると言えればそれまでですが、本当にそうなのですか。若い人は町政に関心がないのでしょうか。いや関心がないわけではなく、何をしても変わらないという虚しさを感じ

じているのではないのですか。地域を再生したいなど関心を持ち、疑問に目をつぶらず声を上げてみてはどうでしょうか。ある講義で聴きました「意識は変えられる。しかし、体質は変えることは難しい。体質を変えるには、ひとりひとりが現在の置かれている立場、環境変化への対応の積み重ねである」と。是非とも志を強く持ち、住み良い郷土づくり、自身の政策をもって頑張ってみてはどうですか。切望します。

一茶と俳句

ともかくもあなた任せの年の暮 おらが春
文政二(一八一九)年 五七歳

ともかくはいずれにせよ、とにかく。あなた任せは仏の力によりすがる、他力本願、なるままに等の意味がある。

新年に一茶は「目出度さもちう位もおらが春」
「這へ笑へ二つに成るぞけさからは」長女さとの成長を祝し喜びに満ちた句を詠みました。しかし六月二日さと発病(痘瘡)二一日に死亡。一茶も七月三日オコリ(マラリア)で発作、一日おきに数回発熱するなど、一二月三日江戸に行こうとしたが中止する。

一年の悲喜交交を振り返り、仏の力によりすがるか、なるがままにするかである。何れにせよ新年を迎えることになる。

竹内 恒男 抄出



大正12年建立
柏原仁之倉 宮沢 明子 様宅

ともかくもあなた任せの年の暮